

学生に対する経済的支援の全体像

()は全学生に占める対象者の割合

学部		大学院	大学院
学生数: 252.1万人 (H20学校基本調査)		大学院	大学院
(注) 学部: 44.3万人 専攻: 408 専攻別人数: 63.4万人		修士課程	博士課程
(注2) 専攻: 11.4万人 専攻: 608 専攻別人数: 18.4万人		学生数: 16.5万人	学生数: 7.4万人
(注3) 専攻: 195.2万人 専攻: 5968 専攻別人数: 83.4万人		修士課程	博士課程
(注4) 専攻: 11.4万人 専攻: 608 専攻別人数: 18.4万人		学生数: 1.02万人	学生数: 0.42万人
(注5) 専攻: 195.2万人 専攻: 5968 専攻別人数: 83.4万人		(注5) 専攻: 1.2万人	(注5) 専攻: 1.62万人
奨学金	(独) 日本学生支援機構奨学金 (H19実績) 貸与総数: 80.6万人 / 貸与総額: 6,099億円 (29.9%) ●無利子奨学金専攻 25.5万人/1,589億円/1人当たり月額5.2万円 (9.5%) ●有利子奨学金専攻 55.1万人/4,510億円/1人当たり月額6.8万円 (20.4%) 総額: 貸与7,067億円、優遇者免除139億円 総数: 貸与89.2万人、優遇者免除0.9万人	(独) 日本学生支援機構奨学金 (H19実績) 貸与総数: 7.1万人 / 貸与総額: 750億円 (42.6%) ●無利子 4.9万人/507億円/1人当たり月額8.8万円 (29.3%) ●有利子 2.2万人/243億円/1人当たり月額10.2万円 (13.3%) 業績優秀者選免除 (H19実績) ●修士: 0.7万人/93億円 1人当たり136万円	(独) 日本学生支援機構奨学金 (H19実績) 貸与総数: 1.6万人 / 貸与総額: 216億円 (29.7%) ●無利子 1.4万人/203億円/1人当たり月額12.2万円 (27.4%) ●有利子 0.1万人/15億円/1人当たり月額10.3万円 (2.3%) 業績優秀者選免除 (H19実績) ●修士: 0.2万人/46億円 1人当たり209万円
	給与	●ティーチング・アシスタント (TA) 全体数: 5.8万人 (34.9%) (H18実績) ●国立大学: 3.8万人 (37.6%) ●私立大学: 2.1万人 (33.7%) 1人当たり月額: 4.3万円 (専攻: 5年度国立学校特別交付)	●ティーチング・アシスタント (TA) 全体数: 1.6万人 (21.6%) (H18実績) ●国立大学: 1.2万人 (23.2%) ●私立大学: 0.3万人 (18.4%) 1人当たり月額: 4.3万円 (専攻: 5年度国立学校特別交付)
授業料減免等	授業料減免 ●国立大学 4.6万人 / 148億円 1人当たり月額 ●実人数 (H19実績) ●全額免除の場合: 4.5万円 ●半額免除の場合: 2.2万円 (10.1%) ●私立大学 2.2万人 / 64億円 1人当たり月額2.4万円 ●延べ人数 (H20実績より推計) (1%) 総額: 284億円 総数: 10.0万人	授業料減免 ●国立大学 1.8万人 / 80億円 1人当たり月額 ●実人数 (H19実績) ●全額: 4.6万円 ●半額: 2.2万円 (18.9%) ●私立大学 0.07万人/2億円 1人当たり月額 2.4万円 ●延べ人数 (H20実績より推計) (1%)	授業料減免 ●国立大学 1.6万人 / 55億円 1人当たり月額 ●実人数 (H19実績) ●全額: 4.6万円 ●半額: 2.2万円 (28.8%) ●私立大学 0.02万人/0.6億円 1人当たり月額 2.4万円 ●延べ人数 (H20実績より推計) (1%)
【参考】	学部生全体延べ数: 87.3万人	修士全体延べ数: 15.5万人	博士全体延べ数: 9.2万人
民間団体	民間団体等 (公益法人・学校等) 奨学金 (平成16年度専攻単位に関する実施調査) ●大学学部 11.5万人 / 372億円 1人当たり月額 2.7万円 (貸与: 36.9%) (給与: 26.4%) (給与・貸与: 36.7%)	民間団体等 (公益法人・学校等) 奨学金 (平成16年度専攻単位に関する実施調査) ●大学院 1.7万人 / 56億円 1人当たり月額 4.2万円 (貸与: 11.6%) (給与: 49.0%) (給与・貸与: 33.4%)	

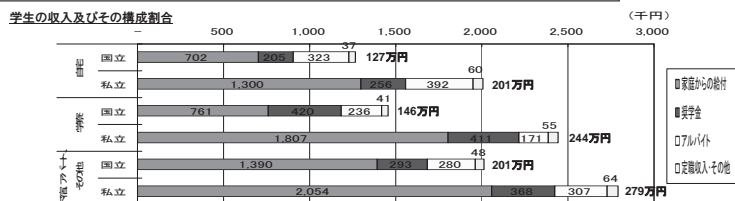
学生に対する経済的支援の全体像 (学部生)

()は全学生に占める対象者の割合

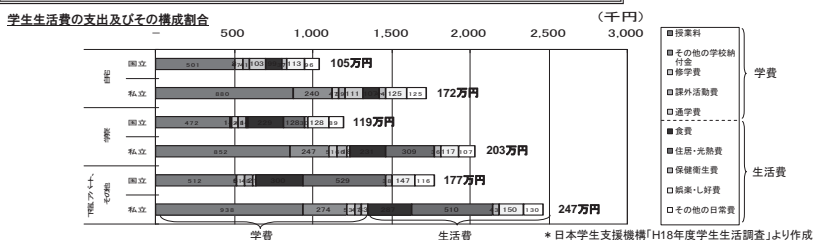
学部		大学院
学生数: 252.1万人 (H20学校基本調査)		大学院
(注) 学部: 44.3万人 専攻: 408 専攻別人数: 63.4万人		修士課程
(注2) 専攻: 11.4万人 専攻: 608 専攻別人数: 18.4万人		学生数: 1.02万人
(注3) 専攻: 195.2万人 専攻: 5968 専攻別人数: 83.4万人		(注5) 専攻: 1.2万人
(注4) 専攻: 11.4万人 専攻: 608 専攻別人数: 18.4万人		(注5) 専攻: 1.62万人
(注5) 専攻: 195.2万人 専攻: 5968 専攻別人数: 83.4万人		(注5) 専攻: 1.2万人
奨学金	(独) 日本学生支援機構奨学金 貸与総数: 80.5万人 (29.9%) / 貸与総額: 6,099億円 (H19実績) ●無利子奨学金専攻: 25.5万人 (9.5%) / 貸与総額: 1,589億円 [人数] ●国立大学: 8.6万人 (14.8%) / 貸与総額: 481億円 ●私立大学: 16.9万人 (8.0%) / 貸与総額: 1,108億円 ●有利子奨学金専攻: 55.1万人 (20.4%) / 貸与総額: 4,510億円 [人数] ●国立大学: 12.7万人 (21.9%) / 貸与総額: 947億円 ●私立大学: 42.4万人 (20.0%) / 貸与総額: 3,563億円 総額: 貸与7,067億円、優遇者免除139億円 総数: 貸与89.2万人、優遇者免除0.9万人	(独) 日本学生支援機構奨学金 (H19実績) 貸与総数: 7.1万人 / 貸与総額: 750億円 (42.6%) ●無利子 4.9万人/507億円/1人当たり月額8.8万円 (29.3%) ●有利子 2.2万人/243億円/1人当たり月額10.2万円 (13.3%) 業績優秀者選免除 (H19実績) ●修士: 0.7万人/93億円 1人当たり136万円
	給与	●ティーチング・アシスタント (TA) 全体数: 5.8万人 (34.9%) (H18実績) ●国立大学: 3.8万人 (37.6%) ●私立大学: 2.1万人 (33.7%) 1人当たり月額: 4.3万円 (専攻: 5年度国立学校特別交付)
授業料減免等	授業料減免 ●国立大学 4.6万人 (10.1%) (実人数) / 148億円 (H19実績) 【参考: 延べ人数】 7.5万人 休学期・後期それぞれを合わせた人数。 ●全額免除: 2.2万人/57億円 ●半額免除等: 5.3万人/91億円 ●私立大学 2.2万人 (1.0%) (延べ人数) / 64億円 (H20実績) ●国は在籍の専攻費の1/2以内を補助 (22億円) 【事業別内訳 (延べ人数)】 ●授業料減免: 0.32人 ●給付制奨学金: 1.71万人 ●教育ローン: 1.71万人 ●教育ローンの利子補給: 0.2万人	授業料減免 ●国立大学 1.8万人 / 80億円 1人当たり月額 ●実人数 (H19実績) ●全額: 4.6万円 ●半額: 2.2万円 (18.9%) ●私立大学 0.07万人/2億円 1人当たり月額 2.4万円 ●延べ人数 (H20実績より推計) (1%)
【参考】	学部生全体延べ数: 87.3万人	修士全体延べ数: 15.5万人
民間団体	民間団体等 (公益法人・学校等) 奨学金 (平成16年度専攻単位に関する実施調査) ●大学学部 11.5万人 / 372億円 1人当たり月額 2.7万円 (貸与: 36.9%) (給与: 26.4%) (給与・貸与: 36.7%)	民間団体等 (公益法人・学校等) 奨学金 (平成16年度専攻単位に関する実施調査) ●大学院 1.7万人 / 56億円 1人当たり月額 4.2万円 (貸与: 11.6%) (給与: 49.0%) (給与・貸与: 33.4%)

学生生活の収入・支出状況（学部生）

収入：下宿等の年額の奨学金は国立29.3万円、私立36.8万円

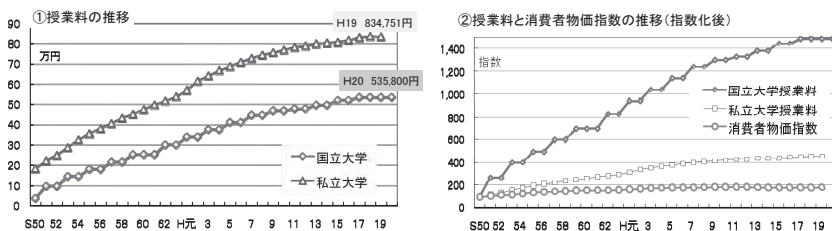


支出：下宿等の年額の学費は国立63.8万円、私立134.6万円



大学学部の授業料と入学金

(1) 大学の授業料は物価指数と比べて大きく上昇。特に国立大学の伸びは著しく、過去30年間で消費者物価指数は約2倍だが、国立大学の授業料は14倍増。国立大学と私立大学の差は30年で5倍から1.6倍へ。



(2) 入学金も上昇。国立と私立の差はほぼ解消。

入学金	(昭和50年)	→	(昭和61年)	→	(平成19年度)
◆ 国立	50,000	→	150,000	→	282,000 (5.6倍へ)
◆ 私立	95,584	→	241,275	→	273,564 (2.9倍へ)
私立/国立	1.9倍	→	1.6倍	→	1.03倍

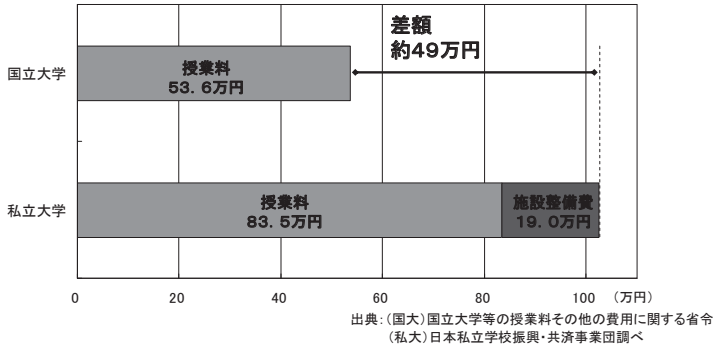
※なお、米・英・仏・独は、入学金は無。

(指数欄は、昭和50年度を100とした値)

国立大学と私立大学の授業料等(学部生)

国立大学と私立大学の授業料等の学費の差額は約49万円。

■ 国立大学と私立大学における学生一人あたりの授業料額(平成19年度)



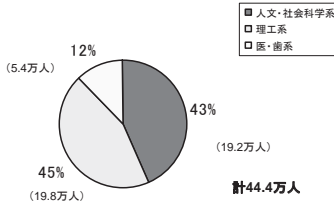
■ 国立大学と私立大学の学部生数(平成19年度:学校基本調査)

大学種別	学部生数
国立大学	457,752人
私立大学	1,944,510人

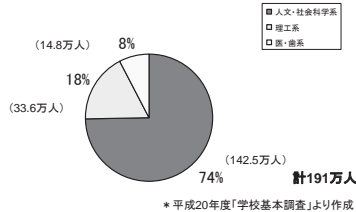
大学学部(昼間部)の分野別の在学者数と学費(国立、私立)

大学学部において私立大学は国立大学の約4.3倍の学生が在籍。そのうち、人文・社会科学系の在籍者の国立大学の人数(19.2万人)、割合(43%)と比べ私立大学における人数(142.5万人:国立の7.4倍)・割合(74%)が大きい。

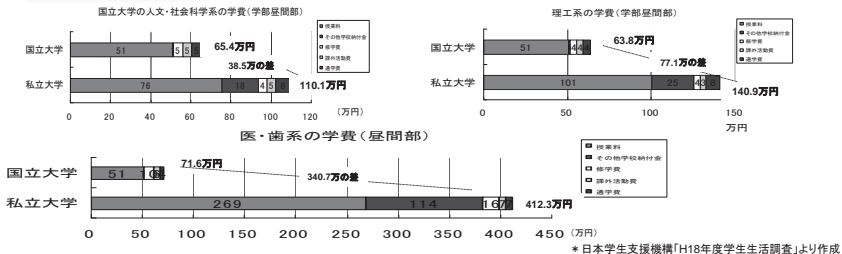
国立大学における分野別在学者数の割合(H20年)



私立大学における分野別在学者数の割合(H20年)

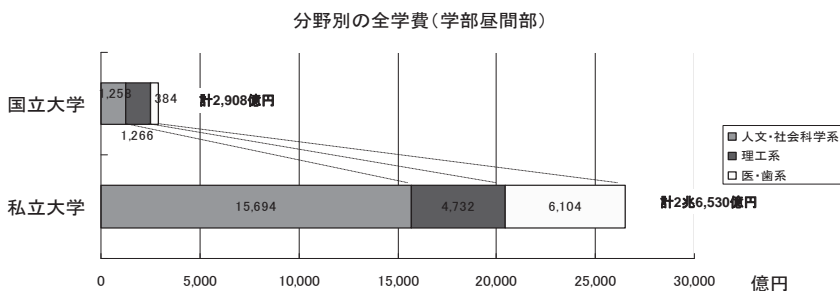


分野別の学費(国私の比較)



大学学部(昼間部)の分野別の全学費(国私比較)

全学部生が負担する学費を比較すると、私立大学の全学費は国立大学の約9倍。
分野別で比較すると人文・社会科学は約12.4倍、理工は3.7倍、医・歯系は15.9倍。



* 日本学生支援機構「H18年度学生生活調査」及び
文部科学省「H20年度学校基本調査」より推計

大学学部の授業料減免(国立、私立)

国立大学で約10%の学生が授業料減免の対象。
私立大学では延べ人数でも1%の学生が授業料減免の対象。

■ 国立大学の授業料免除等について(文部科学省調べ)

国は経済的理由により、授業料等の納付が困難な者に対する授業料減免措置制度を設け、運営費交付金の算定において考慮。

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
のべ人数	6万7千人	7万2千人	7万5千人
実人数	—	4万5千人(9.9%)	4万6千人(10.1%)
免除実施額	140億円	146億円	148億円
学校数	87校	87校	86校

(注)1. 実人数は平成18年度から調査を実施。2. のべ人数は、前期、後期それぞれの免除者数の合計。
3. 学校数は、平成19年度に減じたのは大学の統合によるもの。

■ 私立大学の授業料免除等について(私立大学等経常費補助金交付実績)

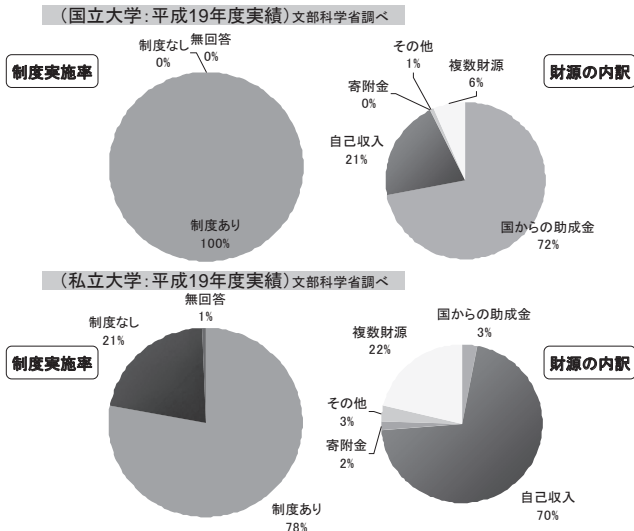
平成18年度より、私立大学等において、経済的に修学困難な学生を対象に実施している授業料減免事業等へ支援。

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
のべ人数	—	2万人(1%)	2万人(1%)	2万2千人(1%)
免除実施額 (補助金額)	—	52億円 (19億円)	57億円 (20億円)	64億円 (22億円)
学校数	—	345校	374校	385校

(注)1. 私立大学の数値は国の補助による数値のみ計上しており、大学独自のものは除く。2. のべ人数は、国庫補助を活用した授業料減免及び独自の奨学金等の対象者の合計。3. 学校数は大学院も含む。4. 国は事業費の1/2以内を補助。

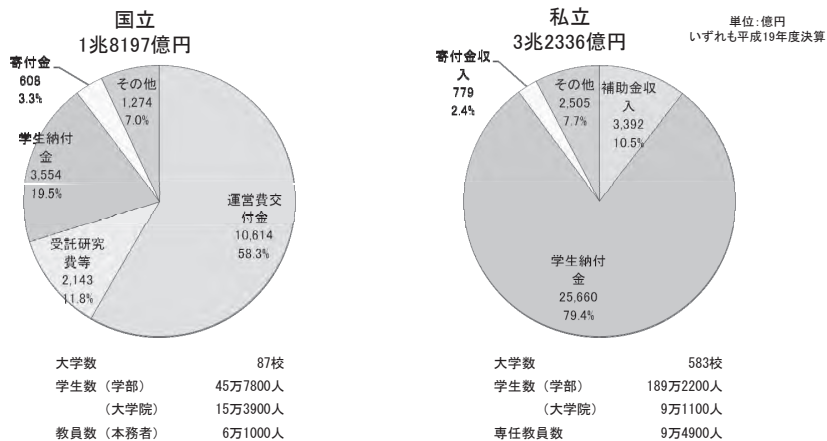
国立大学と私立大学の授業料減免制度(実施状況・財源内訳)

国立大学は全大学、私立大学は約8割の大学が実施。



国立大学と私立大学の収入内訳

大学の収入に占める学生納付金の割合は、国立大学で19.5%、私立大学で79.4%と大きく異なる。



(国立大学法人の損益計算書の収益から付属病院収益7098億円を除いている)

(「今日の私学財政」の大学部門の収支計算書の消費収入の附属収入合計(法人部門・付属病院・研究所等を含んでいない))